

II 個性と強みを活かしい、五国がともに栄える兵庫をつくる

多様な特性や異なる文化を有する5つの国の持つ強みを活かし、補完し合いながら、一つの兵庫として大きな力を発揮する。五国がバランスよくともに栄える兵庫をつくれます。

1 2025年までに人口の社会増を実現する「若者流出ストッププロジェクト」を展開します

(7) 自立分散型社会をめざす地域創生戦略を加速させます。

- 東京一極集中の是正を本格的に進めるため、リモートワーク、ワーケーション、地方移住、副業・兼業の促進など、地域創生戦略に掲げる施策を充実強化します。
- 「ひょうご地方創生交付金制度」を継続実施し、市町の個性ある地域づくりを支援します。

(8) 移住者への魅力ある住まいの提供や情報通信技術を活かした快適な生活空間の創出に取り組めます

- 東京・大阪からのUJIターンを促進するため、カムバック兵庫センターを中核とした移住から仕事まで一貫した相談体制をさらに強化します。
- お試し居住や移住定住の受け皿として、空き家改修を促進するとともに、移住支度金を交付するなど、円滑な移住生活が始められるよう移住者などの生活を支援します。
- 二地域居住など多拠点を巡るライフスタイルを支援するため、県内移動を定額で行えるサービスの導入を進めます。
- 東京圏等の企業に在籍したまま県内へ移住する人を増やすため、企業の兵庫情報スーパーハイウェイの活用促進や、移住者向けのリモートワーク環境整備を支援します。
- 多自然地域でも安心して暮らし続けられるように、遠隔授業、ドローン配送サービス、遠隔医療など情報通信技術を活用して教育、医療、福祉などの生活サービスを受けられるようにします。

(9) 地元企業と若者のマッチングを強化して若者の県内定着を促進します

- 首都圏、関西圏の大学とさらに就職支援協定の締結を進めます。これまで協定締結した大学とあわせ、県内企業情報の効果的な提供やマッチングを強化し、県内就職を促進します。
- 女性の地元就職を促進するため、女性のロールモデルの情報発信、地元企業の認知度向上、職業体験の推進、企業と学生とのマッチングを強化します。

(10) 国内サプライチェーンの再構築も含め、本社やオフィス等の進出を促進し、働く場を増やすことで人の流れを呼び込みます

- サプライチェーン強化・再構築に取り組む企業の設備投資、雇用補助、法人事業税などの減免などにより積極的に支援します。
- 兵庫情報スーパーハイウェイによる高速大容量通信環境など兵庫の優位性をアピールし、オフィスも含め、幅広い職種の企業誘致を展開します。
- 市街化調整区域や農業振興地域における企業立地について、案件毎に丁寧に対応し、地域経済と街並み・風景などと調和のとれた街づくりを進めます。

2 五国の特性を活かし、地域の魅力をさらに高めます

(11) 「神戸・阪神」「播磨」「但馬」「丹波」「淡路」それぞれの魅力を活かす戦略プロジェクトを新たに展開します

- 大阪・関西万博を見据え、集客・交流空間としての臨海部の再整備や水辺空間の活用を進める「阪神・淡路大交流プロジェクト」を展開します。
- 銀の馬車道・鉾石の道の活用や伝統工芸・伝統文化を体験するメニュー開発、播磨の山城再現アプリの拡充など「播磨歴史街道プロジェクト」を進めます。
- 温泉地や豊かな自然の中でのテレワークやワーケーションなど新しい働き方を追求するモデルとなる「但馬ワークプレイスプロジェクト」を具体化します。
- 大都市との近接性を活かし、空き家・廃校などを活用したオフィス・起業家誘致、お試し滞在など移住・環流に誘う「たんば暮らしプロジェクト」を推進します。
- 淡路の新たな食材の発掘や6次産業化により食文化を発展させ、世界に向け発信する「令和の御食国プロジェクト」に取り組みます。

(12) 五国の資源をフル活用して、兵庫の魅力を高め、国内外に発信します

- 六甲山のさらなる賑わいを創出するため、ビジターセンターを中核に六甲山の魅力発信を強化します。六甲山ヒルクライム大会の開催に向けた取組を支援します。
- 兵庫の成り立ちや五国の多様な地域資源を発信する「兵庫の津ミュージアム」の整備を着実に進めます。
- 「銀の馬車道・鉾石の道」など全国最多の9つの日本遺産を地域活性化の切り札の一つとして活かします。地域の歴史文化遺産の掘り起こしを進め、日本遺産の認定をさらに増やします。
- 阪神間モダニズムなどの芸術文化資源を活かしたマイクロツーリズムの振興など交流の拡大、賑わいの創出に取り組みます。有馬富士公園の新宮晋氏の芸術を発信する「地球アトリエ構想」の具体化を進めます。
- 明石港の砂利揚場跡地を明石市役所の再整備と合わせて進め、魚の棚商店街と一体となった回遊性のあるウォーターフロント拠点として再整備します。

- 丹波・川代溪谷の化石発掘体験など恐竜化石フィールドミュージアムを推進します。シューベルティアーゼたんばなど地域に根づいた芸術文化を大事に守り育てます。
- 淡路島公園や、淡路花さじきなどの交流拠点のネットワーク化を強化し、内外からの人を呼び込みます。「鳴門の渦潮」の世界遺産登録も実現します。

(13) 中心市街地や商店街の再生を支援し、街の賑わいをつくります

- 市街地をリノベーションし、商業や業務機能の集積を進めることで街に賑わいを取り戻します。三宮駅周辺地区は、働いても、遊んでも、そして、歩いても楽しい街に再生するため、再整備を支援します。元町山手地区についても、県庁舎等再整備の再検討に合わせて、多くの人々が訪れ、にぎわうエリアとなるよう検討します。
- 空き店舗を活用した新規出店、事業承継支援を強化するほか、街づくりと一体となった商店街の再開発により、人が集まる魅力ある商店街づくりを支援します。
- 商店街など小売・飲食施設への集客力向上を図るためのイベント支援制度を充実します。キャッシュレス決済の普及を図るため、機器導入補助や手数料支援を創設します。地域の同業店舗の仕入れ運送の共同化、商店街の消費者への共同宅配など、小規模店舗の物流効率化を支援します

(14) 郊外住宅地の再生を支援し、地域の活力を生み出します

- 空き家対策条例を制定し、放置空き家の除却と利活用を促進します。
- 狭い住宅区画のニコイチ化や菜園付き住宅へのリノベーションなど、郊外住宅団地をポストコロナ社会に対応した分散居住の受け皿として再整備します。

(15) まちづくりの質を高め、自然豊かで美しい街並み空間を再生します。

- 地域の実情に応じたまちづくりを進めるため、開発を促進する地域と抑制する地域を分けている、いわゆる線引きを含め、都市計画の大胆な見直しを行います。
- 大都市としての兵庫ブランドを強化します。木陰やせせらぎのある、歩いて心地良い道づくりや電線類の地中化を進め、潤いのある市街地を作ります。良好で快適な生活環境を創出するため、街路樹の育成、透水性舗装の普及、壁面緑化など自然豊かな街並み空間の形成、市街地のヒートアイランド化を食い止めます。

(16) 都市との交流を通じた多自然地域の活力再生に取り組みます

- 都市との交流により小規模集落の再生を進める地域再生大作戦を強化します。特に、地域おこし協力隊の増強などにより、都市住民の流入を拡大します。
- 多自然地域の古民家や廃校の再生を支援し、移住や交流のための拠点施設として活用します。集落のコミュニティの相互扶助の仕組みを活かして、買い物、家事代行などの生活支援サービスの起業化を支援します。

3 内外との交流を拡大し、地域に賑わいを生み出します

(17) 兵庫での感動体験を求めて人が集まる魅力的なツーリズムを提供し、旅行者満足度日本一をめざします。

○滞在型観光を増やすため、日本一数の多い9つの日本遺産をはじめ、旧五国からなる多彩な地域性、山、川、海の多様な自然、地域に根付く様々な産業、伝統文化を生かした新時代ツーリズムを展開し、交流人口を拡大します。

- ・各地の自然・文化・暮らしを体感できるマイクロツーリズム
- ・世界に誇る安藤建築や、産業・科学インフラ等を巡るサイエンスツーリズム
- ・クリエイター志向、地方回帰志向の若者を対象にした地場産業インターンシップツアーなどのテーマツーリズム
- ・その土地の物語や雰囲気など五感で土地の食文化を体感するガストロノミー（美食）ツーリズム 等

○瀬戸内クルーズの本格展開のほか、JRと連携したディスティネーションキャンペーン、神戸・伊丹・但馬空港を中核としたローカルエアーで結ぶ相互送客観光ツアーなど、陸海空の交通機関と連携した誘客促進に取り組めます。

(18) 内外の観光・旅行再開を見据えた受け入れ環境を強化します

○観光地を支える快適な環境整備を図るため、地域の実態に応じて、多言語案内・解説板の充実、キャッシュレス決済対応や通訳 ICT サービス、VR（バーチャル・リアリティ）も組み込んだ兵庫の魅力発信などの計画的な基盤整備を推進します。

○ワーケーションスペースの設置やバリアフリー化改修など、前向きな設備投資等を行う宿泊事業者への支援を充実します。

○新しい旅のスタイルや観光ニーズに対応できる観光人材や通訳案内士など今後の観光産業の中核を担う人材の育成に積極的に取り組めます。特に但馬芸術文化観光専門職大学から輩出される観光施設経営などの専門人材を活用します。

(19) ワールドマスタースゲームズの開催、大阪・関西万博に関西全体で取り組めます

○2022年5月から関西全域で行われる「ワールドマスタースゲームズ 2021 関西」を成功させます。感染防止対策を徹底し、プレ・テスト大会など万全の準備を進めます。

○2025年大阪・関西万博には、関西広域連合によるパビリオンへの参加に加え、神戸の先進医療、姫路の世界遺産、淡路の食文化など、兵庫の地域資源を体験し、味わえるサテライト会場を設置します。本会場とネットワーク化し、バーチャルとリアルの両面から魅力を発信し、県内への誘客を促進します。

4 新たな出会いを生む交流の基盤を充実させます

(20) 県内を快適に移動できる道路ネットワークの整備を進めます

- 大阪湾岸道路西伸部、神戸西バイパス、名神湾岸連絡線など産業物流面での大動脈となる道路の整備を着実に進めます。播磨臨海地域道路は、まずは的形～播但連絡道路間などの優先整備区間から5年以内の着工をめざします。
- 東播磨道や東播磨丹波連絡道路など、基幹道路八連携軸の形成を促進します。また、神戸中心部と北播磨を結ぶ路線など、「ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画」に掲げた構想路線の具体化を進めます。
- 山陰近畿自動車道、北近畿豊岡自動車道の整備を進め、日本海側の高速道路空白地帯を解消します。
- 県管理の国道や県道など地域内の交流を支える幹線道路を積極的に整備します。

(21) 新たな物流・交流を生み出す空港・港湾の整備・活用を促進します

- 関西三空港が首都圏空港に伍する空の玄関口となるよう、神戸・伊丹空港への国際定期便就航をめざします。
- 旅客船利用者の利便性・快適性向上と賑わい創出に向け、姫路港旅客ターミナルのリニューアルを行い、瀬戸内クルーズなどの拠点として活用を促進します。
- 姫路港広畑地区の水深14m岸壁の整備、尼崎西宮芦屋港や東播磨港の荷揚げ場や岸壁の改良など、産業・物流を支える港湾の機能強化を進めます。

(22) 地域の公共交通基盤の利用促進を進めます

- コミュニティバスの広域化、自家用有償運旅客運送の普及などを組み合わせて交通不便地の利便性を高めます。
- 地域の様々な公共交通サービスの経路検索や支払いが一括でできるMaaSを導入し、自動運転バスなどの最新技術も取り入れながら、誰もがストレスなく移動できる兵庫をつくれます。
- 大都市中心部や景観地区へのマイカー乗り入れ抑制などにより、街中に人にやさしい街路を整備します。